

「日本内視鏡外科学会」理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日 時：2011 年 4 月 19 日（火）16：00～19：00

会 場：丸ビルコンファレンススクエア（東京）

出席者：北野正剛（理事長）、松本純夫（副理事長／副会長）、星合晃（会長）、伊熊健一郎、大貫恭正、小澤壯治、黒川良望、小西文雄、土屋了介、徳村弘実、馬場志郎、森川利昭、森川康英、山下裕一、若林剛、渡邊昌彦（以上、理事）、木村泰三、大橋秀一、谷川允彦（以上、監事）、北島政樹（名誉顧問）、塩田充（以上、総会幹事）、堤健太郎（顧問弁護士）

委任状：坂井義治、出沢明、万代恭嗣、松田公志（理事）、東原英二（以上、監事）

理事会開催に先立ち、3 月 11 日に発生した東日本大震災の犠牲者に対し黙祷が捧げられた。

1. 前回理事会議事録の確認

北野正剛理事長より提示され、特に問題なく承認された。

2. 東日本大震災に際しての対応について

北野理事長より、現時点までに本学会として、理事長よりの哀悼メッセージを一斉配信したことで、被災地域の役員の無事と状況を確認したこと、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器外科学会と合同で地震対策本部および厚生労働省あてに「被災地域への医薬品、診療材料などの迅速な搬送の要望」を提出したこと、産婦人科領域よりの要望に基づき「災害時の乳幼児栄養の指針および注意点」をホームページに掲載したことなどが報告された。また、被災地域の黒川良望理事、徳村弘実理事、若林剛理事より、被災地域の宮城県および岩手県の現状と支援活動への御礼が述べられた。

また、北野理事長より今後の被災された会員への支援について提議され、検討の結果、厚生労働省「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法の適用について（第 11 報）」に規定された地域から東京を除いた被災地域（千葉県の一部を除く）の会員への支援として、直近 1 年間の会費免除、2011 年技術認定制度申請者（新規・更新）に対する提出書類の簡素化、第 24 回総会参加費の免除および教育セミナー参加費の免除を実施することが決定された。また、これらの決定はホームページおよび学会誌へ掲載し広告する。

3. 2010 年度会計報告

星合晃財務委員長より 2010 年度決算報告が示され、収入、予算ともにほぼ予算通りであり、黒字であったことが報告され、承認された。

4. 一般社団法人への資産移動の件

星合財務委員長より、任意団体である日本内視鏡外科学会から一般社団法人日本内視鏡外科学会への移行について2010年10月1日付で移行され、順次名義変更されて、管理されていることが報告された。

5. 技術認定合格者

松田公志技術認定制度委員長が欠席のため北野理事長より、各領域の合格者が発表され、

- 1) 第7回技術認定（消化器・一般外科領域）審査結果が報告され、合格者126名が承認された。
- 2) 泌尿器科領域より、14名の新規申請者、8名の更新申請者が報告され、承認された。
- 3) 産科婦人科領域より、12名の新規申請者、3名の更新申請者が報告され、承認された。
- 4) 整形外科領域より、1名の新規申請者が報告され、承認された。
- 5) 第3回技術認定（小児外科領域）審査結果が報告され、合格者4名が承認された。
- 6) 呼吸器外科領域については、日本呼吸器外科学会の専門医制度との兼ね合いを考慮して検討している。

6. 定款により退任となる理事と後任について

北野理事長より2011年の総会を以って、土屋了介理事、星合晃理事、森川康英理事が退任となることなどが説明された。従来は退任される理事の後任は同じ領域の理事が就任されることが慣習となっていることが説明され、これを理事会申合せ事項として規定することが提案され、承認された。個別的な後任理事の選任については次回理事会にて推薦書を受け付けることとなった。

7. 新事務局体制について

松本純夫副理事長より、去る1月18日に開催された臨時理事会において事務局契約更新について検討され、会員数が1万人を超えたことを以って、現在の業務委託先である学会支援機構との契約を終了し、将来的に独立した事務局を持つことを念頭に移行作業業務の委託先を選定することとなったことが説明された。検討の結果、日本コンベンション・サービス株式会社に委託することが決定された。詳細については、将来構想委員会において検討され実行されることとなった。

8. その他

特にない。

9. 編集委員会

北野正剛主幹より、「内視鏡外科学会雑誌」が順調に発行されていることなど報告された。

また、Asian Journal of Endoscopic Surgery (ASES) について、編集担当のWiley-Blackwell社の八幡智雄氏より以下の通り報告された。

- ・現在1,145の図書館で購読可能（オプト・イン契約）である。
- ・2010年から論文のダウンロードが11,000回以上あった。
- ・PubMedに収載された。
- ・SCIS（インファクト・ファクター）への収載を目指し活動している。

- ・フィランソフィー活動を通じて国連が定める発展途上国への廉価ダウンロードを実施している。

また、北島政樹 ASES 編集委員長より、SCIS への収載を目指し、世界的な雑誌とすべく活動していることが報告された。また、査読期間短縮のために査読委員の増員について説明され、承認された。

10. 倫理・渉外委員会

小澤壯治委員長より、利益相反 (COI) に関する宣言および運用規則が提示された。研究口座への寄付が研究代表者への寄付の扱いとなることなどについて留意が必要であるとの指摘があった。また、COI 委員会の設立について提案され、COI 委員会を別途設けることとし、森川利昭理事を委員長とし倫理・渉外委員会委員の半数程度を基に構成することとなった。

11. 総務委員会報告

伊熊健一郎委員長より、特に報告事項がないことが報告された。

12. 教育委員会報告

黒川良望委員長より、以下の通り報告された。

1) 教育セミナー

第 24 回総会時に開催するべく準備を進めている。

2) 用語集改訂

1 月 9 日 (日)~10 日 (祝) に合宿委員会を開催し、見出し語の抽出および整理をおこなった。日本医学会用語委員会とも協議し、様式を合せて使い易い用語集を目指して準備を進めている。

3) 公認研究会公認

第 23 回総会終了後本日現在までに申請があった研究会はない。

4) 後援名義使用許可

申請のあった講習会の審査・許可を行った。

5) 内視鏡下縫合・結紮手技講習会

- ・名称を「内視鏡下結紮・縫合手技講習会」から「内視鏡下縫合・結紮手技講習会」に変更した。
- ・テキストおよび講習内容を改定した。
- ・テキストを受益者負担とし、受講料の他に別途、教材費 3,000 円を徴収することとした。
- ・受講者の手技の録画を DVD で行うこととした。

13. 学術委員会報告

山下裕一委員長より、アンケート調査について進めているが、事務局業務の移転に伴い、作業方法については見直す可能性があることが示唆された。

14. 保険委員会報告

小西文雄委員長より、平成 23 年度要望項目、新設 8 項目、改正 3 項目、材料 2 項目について

報告された。木村泰三監事より、臍体尾部切除については、先進医療としてではなく一般からも保険点数申請したほうが好ましいとの指摘があった。また、外保連よりディスプレイ材料のアンケート依頼があり、特定の施設に対しアンケートを実施し、回答したことが報告された。

15. 規約委員会報告

徳村弘実委員長より、以下の細則の作成を関係委員会に依頼するなどし、整備を進める方針であることが報告された。

- 1) 社員総会運営規則
- 2) 理事職務権限規則
- 3) 理事会運営規則
- 4) 基金取扱規則……………財務委員会
- 5) 資金運用規則……………財務委員会
- 6) 費用弁済規則……………財務委員会
- 7) 情報公開規則……………総務委員会
- 8) 利益相反に関する規則等……………倫理・渉外委員会

16. 国際委員会報告

万代恭嗣委員長欠席により北野理事長より以下の通り報告された。

- 1) 2010年10月5日に米国のワシントン D.C. において IFSES Executive Board Meeting が開催された。
- 2) 2011年3月31日に米国のサン・アントニオにおいて IFSES Executive Board Meeting が開催された。
- 3) IFSES において Executive Board Member が定められた。
- 4) IFSES の Society Member は現在9団体となっている。
- 5) SAGES 会期中の2011年3月31日に SAGES/JSES Joint Symposium が開催された。

17. 広報委員会報告

出沢明委員長欠席により北野理事長より、ニュースレター7号を発刊したことが報告された。

18. ガイドライン委員会報告

坂井義治委員長欠席により北野理事長より、ガイドライン委員会構成が提示された。

19. 第三者評価委員会報告

森川康英委員長より、山口地裁下関支部からの技術認定取得者の認定ビデオの送付嘱託について説明され、技術認定の提出ビデオは認定審査にのみ使用することを前提としていることから、申請者本人からの要望がない限り提出しないとの回答を行ったことが報告された。堤健太郎弁護士より、補足説明として提出ビデオの著作権については申請者にあると認識されることが指摘された。山口地裁にはビデオテープの開示について Executive Board Meeting が開催された案件に該当する医師からの返却要望があれば返却する旨を回答しているが、その旨了解されたものの、本日現在特に要望はない。また、申請ビデオについては、廃棄する方向で作業を進めることが技術審査委員会（消化器・一般外科領域）委員長の小西理事より説明された。

20. メディカル・チーム委員会報告

渡邊昌彦委員長より、内視鏡外科の技術マニュアルを年内を目処に完成する予定であることが報告された。

21. 医工学連携委員会報告

森川利昭委員長より「日本医工ものづくりコモンズ」に寄付金を支出したことなどが報告された。また、北島名誉顧問を委員会の顧問として迎えたい旨提案があり、北島名誉顧問が快諾し、承認された。

22. 評議員選考委員会報告

若林剛委員長より、特に報告事項がないことが報告された。

23. 大上賞選考委員会報告

土屋了介委員長が途中退席のため、渡邊昌彦理事よりこれから選考対象者の選定をする旨報告された。

24. 伊藤賞選考委員会報告

馬場志郎委員長より伊藤賞の選考対象について、今年度は移行時期であるため、1～4号となることが報告された。

25. 専門医制度検討委員会報告

渡邊昌彦委員長より、前回理事会以後、技術認定制度との整合性も含め検討してきた。先日、北野理事長、松本副理事長、松田技術認定制度委員長とともに平成23年2月22日厚生労働省に赴き、医政局総務課の田中大平専門官、鶴田真也課長補佐および医政局医事課の石井安彦課長補佐と面談し、技術認定制度を保険点数へのインセンシティブのあるものとして認めて欲しいとの要望を行ったが、中々見通しが難しいことから、本学会の特色を生かした専門医制度の設立を目指すかどうか継続的に検討することが報告された。

26. Eラーニング検討委員会報告

大貫恭正委員長より、以下の通り委員会構成が提案され、承認された。

委員長 大貫 恭正 東京女子医科大学第一外科

委員 岩崎 正之 東海大学医学部外科学系

瀧口 修司 大阪大学消化器外科

塩田 充 近畿大学医学部産科婦人科学教室

寺地 敏郎 東海大学医学部外科学系泌尿器科

森川 利昭 東京慈恵会医科大学外科学講座呼吸器/乳腺・内分泌分野

北島名誉顧問より、がん専門医教育のための研究会が作成したEラーニングが既にあるので参考にするよう指摘された。

27. 日本医学会について

北野理事長（日本医学会評議員）より以下の通り報告された。

- ・医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について
- ・平成 22 年度新規加盟学会として、日本プライマリ・ケア連合学会および日本手外科学会が承認された。
- ・2011 年 2 月 23 日に第 78 回定例評議員会が開催された。

28. 第 24 回総会準備状況報告

星合晃会長並びに塩田充総会幹事より以下の通り準備状況が報告された。

日程：2011 年 12 月 7 日（水）～9 日（金）

会場：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル（大阪府）

会長：星合 晃（近畿大学医学部産科婦人科学）

演題募集：2011 年 4 月 26 日～6 月 14 日

29. 第 25 回総会準備状況

松本純夫副会長より以下の通り準備状況が報告された。

日程：2012 年 12 月 6 日（木）～8 日（土）

会場：パシフィコ横浜（神奈川県）

会長：松本 純夫（国立病院機構東京医療センター）

30. 第 26 回総会準備状況

山下裕一次々期会長より以下の通り準備状況が報告された。

日程：2013 年 11 月 28 日（木）～30 日（土）

会場：福岡国際会議場サンパレス（福岡県）

会長：山下 裕一（福岡大学医学部消化器外科）

31. その他

特に提案はなかった。